



夏合宿に 参加して

副会長 伊藤 寛

道徳教育が始まった昭和33年から38年間の教職生活を終え、社会教育指導員として4カ年間の大宮市立博物館での勤務も終わった。時間に余裕ができた。そんな折、鈴木事務局長から國大射撃部合宿の案内があり、参加することにした。

期日が迫り、太田監督から電話があり、当日は氏の自動車に同乗させていただくことになった。

8月9日、11時前に八王子駅南口に降りたつと太田さんが迎えてくれ、車には中島総監督が待っていてくれた。(安達会長は体調がすぐれず不参加になったとのこと。)

車は中央自動車道を山梨の八代射撃場へと直行。AR射場でもSBの射場でも真剣な練習が続いてい

た。終了後、記念写真を撮り、夕立の中を全員が車で宿舎、春日居の温泉民宿に向かう。

礼儀正しい挨拶で始まった夕食。たくさん並んでいた料理がきれいになくなっていく。長い合宿生活が規則正しく健康に送られていることに安心した。

食後に行われたミーティングに先だち、参加した先輩として話をする機会が与えられた。中島さんは往時の練習の様子と故河野監督にまつわる思い出等、監督は競技中に偶発した銃のトラブルの対処方法を語った。私は今日気づいたこととして「まず、4年生部員の就職が内定したと、監督から来る途次車中で聞いたことの喜び。次に、射場で感じた環境と設備の良さ、そこで練習できる幸せ。そして、何よりも、長い間合宿させてもらえる家庭環境の良さ(それらに感謝すべきであるとは言わなかったが自覚しているであろう)」を話し、「今後の勉学と射撃の向上につなげてほしい」と願った。

翌日のOB・現役競射会で、OBの大木コーチがSFR-P60で優勝した。“拍手喝采”

元氣をもらい、満足して帰路につく。

